

測定所の利用者・支援者の方の声

『びくびくしないでくらす権利』

私たちは、毎日の暮らしが明日も続くことを信じて暮らしています。

それは、食べるものが明日もあると思い、そして自分の生命の調子を感じているからでしょう。しかし、そんなに安心しきっていいのでしょうか。

一昨年の3.11以降、日本人は、この両方とも自分だけの力では保持できないということを学んだはずでした。

それなのに、自分のことは自分でという自己責任論が強調され、「家族はお互いに助け合わなければいけない」と明記した憲法を作りたいと安倍さんは言っています。

国にそんなお説教をたれる資格を与えてなるものか、と私は思います。

子どもには安全を証明した食料とどの子もびくびくしなくてもいい環境を保障するため最大の努力をするのが国の責務だ、と現憲法は国に命じています。(13条)

保育園は自治体が国と共に子どもを大切に作る場としてあるはず。その給食の安全を確かめるため、放射線測定はとても大切です。

たかつかさ保育園 園長 藤井 修

『市民測定室は給食室の大切なパートナー』

放射性物質は色もなければ、匂いもしないので、汚染されているかどうかを知るには測定器で測るしかありません。

たかつかさ保育園では震災以降、西日本産の食材を使って給食をつくっています。それ以外の食材を使う時は、事前に市民測定室で測定してもらいます。

この一年間で約30の食材を測定してもらい、安心して給食に使えるようになりました。

成長、発達の著しい乳幼児の給食に責任をもつ者として、気軽に安価で食材の測定ができる市民測定室に期待をしています。

たかつかさ保育園 給食室 王野



『ゲルマニウム半導体測定器を導入し、 関西各地の市民測定所をバックアップします！』

間もなく測定所開設から1年ですね。

予想していたよりセシウム検出される数が少ないですが、多数が加工品や外食産業に回っているからでは？との疑念も消えません。

AT機（ヨウ化ナトリウムシンチレーター）での限界を超える領域での調査が必要だと痛感したので、弊社でゲルマ機を導入する事にしました。

これを京都始め、関西圏市民測定所のクロスチェック用として活用出来る様に致します。

少しでも不安を解消出来る様に一緒に頑張りましょう！

南福崎土地 末野

『測定済み商品を販売中！』

～いのち・くらし・あんしん・つながりをひろげるフェアコープ～

添加物や化学物質の入った食べ物、人間や環境に悪影響をもたらす合成洗剤。非正規労働が増えて賃金が減少し、利益優先の商品があふれている社会。そして放射能汚染。

「信頼できる生産者の商品を、消費者の手に」がフェアコープの理念です。働いているのは、解雇や派遣切りに遭った若者です。この事業を発展させ、働く場を確保したいと思っています。

放射能検査で不検出を確認済の秋田の美味しいお米や高知の野菜、調味料を販売中です。ぜひよろしくお願ひします。

[\(http://www006.upp.so-net.ne.jp/faircoop/\)](http://www006.upp.so-net.ne.jp/faircoop/) 関西事業所 西岡)